

# 週3回のお弁当

おうちの方のお弁当は  
心と体の栄養です

先生と一緒に  
準備や片付け  
がんばったよ

● おうちの方のお弁当をおいしく食べることにより、心が安定して、満たされた気持ちになります

● 自分でお弁当やコップを袋から出し、食べ終わったら片付けてかばんにしまうということを日々行うことで、自立心を促していきます

○ 週2回は幼稚園で用意したお弁当  
(割子弁当・パン・寿司など)

○ お助け弁当 (1食300円)  
作れない日は、  
登園時に注文できます



※内容は日によって変わります



# みんなのお弁当

初めは食べられる  
ものを少しだけ

いつものお弁当



その子に  
合った量で

ちょっと  
がんばったお弁当



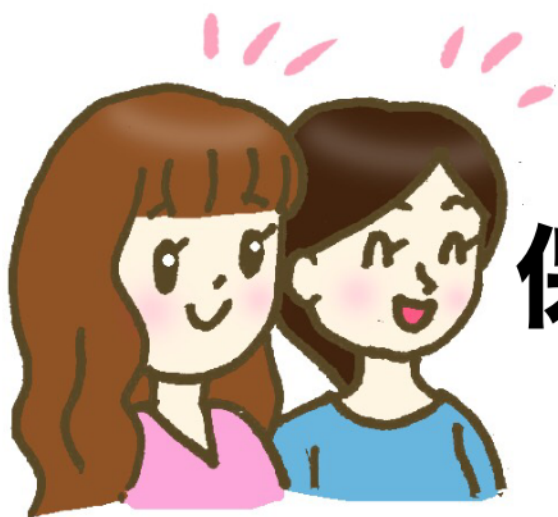
## 温飯期で温めると美味しいお弁当

12月から3月までは、温飯器でほかほかのお弁当。この時期だけ、カレーやシチュー、肉まんもレパートリーに。カレーなどは、ダム型や、ご飯で挟むサンドイッチ型、仕切りで分けるセパレート型など、みなさんいろいろな工夫をされています。



器用な方はこんなお弁当も。ほとんどの方はキャラ弁ではないのでご安心を♪





# 保護者の声



お弁当は思ったほど大変ではありませんでした。先生に「好きなもの、食べられるものを少しだけにしてください」と言われてからはだいぶ楽になりました。今では苦手な野菜も少しずつ食べてくれるように。(Sさん)

「全部食べてくれてありがとうございます」と伝えると嬉しそうな顔をしてくれます。苦手なものも、友だちと一緒にだからかピカピカに食べてくれます。(Wさん)

月曜日と水曜日はお弁当はお休み。レパートリーに富んだメニューで子どもも楽しみに。私もものんびりさせてもらっています。(Nさん)

添加物、着色料、人工甘味料などをできるだけ使わない食材を考えるきっかけになりました。正直面倒なときもあったけど、やってよかったと思っています。お弁当を作っただけの期間は人生でも短いものだから。(Kさん)

\*\*\* 本日の会食です \*\*\*



幼稚園で用意したお弁当の日  
は、降園時に写真を掲示して  
くれます。「これ、食べられた  
よ！」と子どもとの会話がはず  
みます。



# 送り迎え・園庭開放について

## かけがえのない時間



### 一緒に登園します

毎日の送り迎えの中で、教師と話をしたり、園での様子を見たりすることができます。

### 降園後、園庭を開放します

お子さんが園でできるようになったことを見たり、保護者同士で情報交換をしたり、小さなお子さんを安心して遊ばせたりする時間になっています。



### 保護者の声

通園バスのある幼稚園から転園してきました。軽いケガやものをなくしたときは、電話してまで…と思うところがありました。こちらでは毎日その場で聞けて安心します。（Wさん）

毎日お友だちやママ友に会えるので、自然と親睦が深まります。入園前はうまく人付き合いができるか不安でしたが、慣れてくると降園後のおしゃべりの時間が楽しみになっていきました。今では小学校になった上の子の同級生で親の顔を知っているのは大高幼稚園卒の親くらい。親の顔を知っていると安心感が違いますし、今でも気軽に話せるママ友はかけがえのない存在です。（Kさん）

子どもの心の準備ができるまで園で過ごさせてもらえます。年少の最初の頃は、朝バイバイするのに時間がかかりました。子どもが安心できるまで、側にいさせてもらえる時間は、本当に貴重でありがたいものでした。（Tさん）

自転車で通園しています。季節を感じながら他愛もない話をするのも貴重な時間です。近隣の方が挨拶もしてくれ、見守られていると感じます。車での通園もできます。結構遠くから車で登園してくる方もいます。（Mさん）